

◇ 為桜学園 光プロジェクト（進路探究）

「茨城県立医療大学 テーラーメイド体験プログラム」参加

日時 令和6年 12月11日（水）13:30～16:00（作業療法学科・放射線技術科学科）
12月12日（木）9:00～13:00（看護学科・理学療法学科）

参加者 ○ 本校1・2年生希望者 20名（4学科各5名ずつ）

場所 茨城県立医療大学（茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2）



👉 今年度も2日間に分けて、茨城県立医療大学の少人数向け体験プログラムに参加してきました。この事業は県立医療大学を志望する生徒が、実際の授業を体験したり、実習や実験を行う設備を体験するなど、きわめて明確な進路希望にもとづいて実施されます。それだけに、参加生徒たちから事前に出された質問にも、実際に進学することを想定したものが多く含まれていました。

- 「資格を取った後の就職先（現場で働くか研究等もできるのか）」
- 「実習と座学のバランスはどのようになっていますか」
- 「今のうちにやっておいた方がよいことはなんですか（特に大切な分野など）」
- 「学生にはどのような実習の機会がありますか」
- 「助産師学について」

…等々、参加生徒たちは各々のモチベーションをもって当日に臨みました。

👉 そして当日、生徒たちはこの事業でしか経験できない濃密な学びと気づきを得ることができたようです。各自がこの体験でしか得られない手応えとともに、帰路へとつきました。

＜生徒の感想から＞

- 自分の視野を広げるいい経験になった
- いっそう受験勉強へのやる気が湧きました。
- 講義の雰囲気を知ることができてよかった。
- 講義内容もとても楽しかったです！
- 実際の授業などもグループワーク多めでとても好印象でした。
- 医療大の設備・施設はどんなものかしっかり見る事ができた。
- 実際に大学生に話を聞いて大学への不安が減り、楽しみになりました。
- 進路実現に向けて今自分がしなくてはならない事が明確になりとても意義のあるものだった
- 3人組のグループを作ってその中で本当の患者さんみたいに設定して、身体を動かしてすごかった。
- 勉強を頑張ろうという気持ちが強くなりました。施設を見学させてもらったことで、よりこの大学の良さを感じました。
- 自分が考えていた学科の大学4年生からいろいろなお話を聞くことができたおかげで、受験のことだけでなく、大学に進学してからのことも具体的にわかったので非常に有意義な体験ができました。

- 最初はハードルが高いイメージだったのですが、講義を受けて楽しく、分かりやすく教えて頂いたのでオープンキャンパスでは分からない雰囲気味わえて良かったです。県立医療大学に入学したいという気持ちが強くなりました。
- 私は理学療法以外にも迷っている学科があったのですが、実際の講義や学生さんのお話や聞いて、夏のオープンキャンパスよりもさらに理学療法について知ることができ、とても良い経験になりました。
- 最初は作業療法について何も知らなかったが、テーラーメイド体験を通して、詳しく知ることができ、興味が湧いた。
- 今回、作業療法で参加して詳しく知らなかった部分を細かく体験し、知ることができて自分の将来の選択のために視野が広がりました。
- 先生や学生さんたちも明るく雰囲気もよかったです。来年も作業以外の他の学科に参加してもっと就く職業について悩みたいです。

👥 茨城県立医療大学の先生方はじめ、職員、学生の皆様には、年末の慌ただしい時期に丁寧な対応をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

